



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 三機工業株式会社

コード番号 1961 URL <http://www.sanki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 梶浦 卓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 新聞 衛

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 03-6367-7084

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	67,008	4.8	△2,540	—	△2,120	—	△1,287	—
25年3月期第2四半期	63,940	10.3	△1,934	—	△1,707	—	△1,269	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,723百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	△19.06	—
25年3月期第2四半期	△17.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	152,995	—	75,796	—	49.5
25年3月期	166,477	—	76,932	—	46.2

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 75,771百万円 25年3月期 76,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	170,000	9.9	3,200	33.8	3,500	30.6	2,000	—	30.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	69,661,156 株	25年3月期	74,461,156 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,122,403 株	25年3月期	4,921,983 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	67,580,670 株	25年3月期2Q	70,901,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想および個別業績予想につきましては、平成25年8月7日発表の数値から変更はありません。
本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、政府主導の財政政策や金融政策および円安の進展に伴う輸出の増加などに支えられ企業収益は改善し、景気は着実に回復いたしました。

建設投資につきましては、公共投資は大型補正予算に支えられ順調に増加しており、国内の民間設備投資も緩やかな回復基調にあります。当社グループの事業において、受注価格競争の激しさは依然として継続しており、加えて労務費および資機材価格の上昇懸念もあり、採算を確保することが困難な環境となりつつあります。

このような環境のなかで当社グループでは、平成23年度から5カ年に亘る中期経営計画（SANKI VITAL PLAN 90th）をスタートさせました。「総合エンジニアリング企業として省エネルギー・新エネルギーシステムのニーズの普及を促進し、快適な低炭素社会の実現に貢献する」という経営理念に基づき、達成に向けて全社一丸となって具体的な施策を進めております。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	受注高	売上高	営業損失()	経常損失()	四半期純損失()
当第2四半期連結累計期間	86,669	67,008	2,540	2,120	1,287
前第2四半期連結累計期間	82,241	63,940	1,934	1,707	1,269
増減	4,427	3,067	606	412	18
増減率	5.4%	4.8%			

	当期首	当期末	当期首からの増減	増減率
繰越受注高	111,420	131,080	19,660	17.6%

受注高につきましては、前年同期と比較して44億2千7百万円増加いたしました。また、売上高につきましても、前期からの繰越工事の増加により前年同期と比較して30億6千7百万円の増収となりました。一方、利益面につきましては、設備工事業の増収増益や、当社グループ全体で経費削減に努めましたものの、不動産事業が前期に大型賃貸物件の契約期間満了により大幅な減益となった要因を吸収しきれず、全体の営業損失、経常損失および四半期純損失につきましては前年同期と比較して悪化いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、建築設備事業、機械システム事業および環境システム事業につきましては、通常の営業形態として、工事の完成引渡しに年度末に集中する影響で、売上高および利益額が第4四半期に偏る季節要因があります。

また、当年度第1四半期から親友サービス株式会社を新たに連結の範囲に含めました。同社は主に当社の総務業務の受託、リース事業および保険代理事業等、業務を補完する機能を担う子会社であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントとして「その他」に表示しております。

建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備、スマートビルソリューションおよびファシリティシステムに関する事業等、建築設備工事の概ね全てを包含する事業で構成されております。

受注高は749億9千2百万円(前年同期比7.6%増)、売上高は578億6百万円(前年同期比7.5%増)、セグメント損失(経常損失)は17億9千万円(前年同期はセグメント損失22億3千万円)となりました。

前期からの繰越工事が増加したことにより増収となり、セグメント損失は減少しております。

機械システム事業

主に搬送システムおよび搬送機器に関する製造販売事業で構成されております。

受注高は46億2千3百万円(前年同期比18.6%減)、売上高は42億6千2百万円(前年同期比35.6%増)、セグメント損失(経常損失)は1億5千万円(前年同期はセグメント損失3億9千7百万円)となりました。

受注高は、前期に大型搬送用設備の受注があった反動で減少いたしました。

前期からの繰越工事が増加したことにより増収となり、セグメント損失は減少しております。

環境システム事業

主に官公庁発注の上下水道施設および廃棄物処理施設に関する事業で構成されております。

受注高は65億4千万円(前年同期比14.4%増)、売上高は45億5千9百万円(前年同期比22.2%減)、セグメント損失(経常損失)は10億1千1百万円(前年同期はセグメント損失4億2千8百万円)となりました。

前期からの繰越工事が減少したことおよび前年同期に大規模修繕工事の売上高があった反動等の影響から減収となり、セグメント損失は増加しております。

不動産事業

売上高は5億3千8百万円(前年同期比60.8%減)、セグメント利益(経常利益)は6千1百万円(前年同期はセグメント利益6億9千2百万円)となりました。

神奈川県大和市所在の大型賃貸物件について、前期に契約期間が満了となった影響から、減収減益となりました。

その他

売上高は3億円、セグメント利益(経常利益)は2千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は942億5千6百万円(前連結会計年度末比15.2%減)、固定資産は587億3千9百万円(前連結会計年度末比6.2%増)となりました。その結果、総資産は1,529億9千5百万円(前連結会計年度末比8.1%減)となりました。

総資産の減少の主な要因は、流動資産の受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。これは当社グループの売上高は期末に集中するため、各四半期連結会計期間末の受取手形・完成工事未収入金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は597億6千7百万円(前連結会計年度末比18.7%減)、固定負債は174億3千1百万円(前連結会計年度末比8.9%増)となりました。その結果、負債合計は771億9千8百万円(前連結会計年度末比13.8%減)となりました。

負債の減少の主な要因は、流動負債の支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。これは総資産の減少要因と同様に、各四半期連結会計期間末の支払手形・工事未払金等は、前連結会計年度末と比べて減少するという季節的変動によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は757億9千6百万円(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想および個別業績予想につきましては、平成25年8月7日発表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	36,368	34,183
受取手形・完成工事未収入金等	63,288	46,841
有価証券	3,999	3,999
未成工事支出金	1,529	2,913
原材料及び貯蔵品	249	278
繰延税金資産	1,889	2,930
その他	4,103	3,259
貸倒引当金	282	151
流動資産合計	111,146	94,256
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	39,848	39,632
減価償却累計額	34,672	34,730
建物・構築物(純額)	5,176	4,902
機械・運搬具及び工具器具備品	3,987	3,896
減価償却累計額	3,585	3,485
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	402	410
土地	4,331	4,139
リース資産	401	441
減価償却累計額	84	108
リース資産(純額)	317	333
建設仮勘定	-	0
有形固定資産合計	10,227	9,786
無形固定資産		
その他	491	450
無形固定資産合計	491	450
投資その他の資産		
投資有価証券	27,946	32,339
長期貸付金	346	285
前払年金費用	7,312	7,233
繰延税金資産	136	132
敷金及び保証金	1,067	1,079
保険積立金	950	287
その他	7,972	8,250
貸倒引当金	1,120	1,105
投資その他の資産合計	44,612	48,502
固定資産合計	55,331	58,739
資産合計	166,477	152,995

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	51,853	36,645
短期借入金	6,920	6,838
リース債務	57	63
未払法人税等	2,497	164
繰延税金負債	10	18
未成工事受入金	5,332	8,961
賞与引当金	2,176	2,016
役員賞与引当金	83	35
完成工事補償引当金	345	293
工事損失引当金	801	577
その他	3,461	4,151
流動負債合計	73,540	59,767
固定負債		
長期借入金	320	150
リース債務	331	336
繰延税金負債	2,408	4,054
退職給付引当金	7,313	7,239
役員退職慰労引当金	275	245
債務保証損失引当金	29	28
その他	5,327	5,376
固定負債合計	16,004	17,431
負債合計	89,544	77,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,105	8,105
資本剰余金	4,181	4,181
利益剰余金	60,855	56,376
自己株式	2,750	2,443
株主資本合計	70,391	66,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,631	9,594
為替換算調整勘定	90	42
その他の包括利益累計額合計	6,540	9,552
新株予約権	-	25
純資産合計	76,932	75,796
負債純資産合計	166,477	152,995

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
完成工事高	62,568	66,432
不動産事業等売上高	1,372	576
売上高合計	63,940	67,008
売上原価		
完成工事原価	57,747	61,421
不動産事業等売上原価	651	433
売上原価合計	58,398	61,855
売上総利益		
完成工事総利益	4,821	5,010
不動産事業等総利益	720	142
売上総利益合計	5,541	5,153
販売費及び一般管理費	7,475	7,694
営業損失()	1,934	2,540
営業外収益		
受取利息	29	26
受取配当金	225	276
貸倒引当金戻入額	43	136
その他	117	247
営業外収益合計	416	686
営業外費用		
支払利息	46	49
持分法による投資損失	-	22
為替差損	44	48
その他	98	145
営業外費用合計	189	266
経常損失()	1,707	2,120
特別利益		
固定資産売却益	-	179
特別利益合計	-	179
特別損失		
減損損失	46	143
固定資産除却損	19	-
投資有価証券評価損	176	-
特別損失合計	242	143
税金等調整前四半期純損失()	1,950	2,084
法人税、住民税及び事業税	173	113
法人税等調整額	854	910
法人税等合計	680	797
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,269	1,287
四半期純損失()	1,269	1,287

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	1,269	1,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	835	2,962
為替換算調整勘定	8	48
その他の包括利益合計	843	3,011
四半期包括利益	2,112	1,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,112	1,723
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,950	△2,084
減価償却費	596	361
減損損失	46	143
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△149	△146
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△291	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△165	△34
工事損失引当金の増減額(△は減少)	95	△223
受取利息及び受取配当金	△255	△302
支払利息	46	49
持分法による投資損益(△は益)	△1	22
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△179
売上債権の増減額(△は増加)	17,323	16,602
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△334	△1,365
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,392	△15,250
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,856	3,616
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,013	670
その他	2,271	599
小計	5,710	2,485
利息及び配当金の受取額	255	307
利息の支払額	△41	△43
法人税等の支払額	△548	△2,529
法人税等の還付額	180	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,556	222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000	△300
有形固定資産の取得による支出	△217	△262
有形固定資産の売却による収入	—	277
投資有価証券の取得による支出	△121	△122
投資有価証券の売却による収入	—	7
投資有価証券の償還による収入	294	200
貸付けによる支出	△21	△2
貸付金の回収による収入	38	170
保険積立金の払戻による収入	—	723
その他	△14	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,041	656
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	19	△81
長期借入金の返済による支出	△170	△170
自己株式の取得による支出	△813	△2,407
リース債務の返済による支出	△20	△31
配当金の支払額	△536	△521
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,520	△3,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14	△2,281
現金及び現金同等物の期首残高	41,097	40,367
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	96
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,082	38,183

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計		
売上高	53,757	3,142	5,860	1,372	64,132	△ 192	63,940
セグメント利益 又は損失(△)	△ 2,230	△ 397	△ 428	692	△ 2,364	656	△ 1,707

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額656百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益430百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額225百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息および配当金、全社費用の配賦差額などであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常損失と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	57,806	4,262	4,559	538	67,166	300	67,466	△ 458	67,008
セグメント利益 又は損失(△)	△ 1,790	△ 150	△ 1,011	61	△ 2,891	28	△ 2,863	742	△ 2,120

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業および保険代理事業等を含んでおります。なお、非連結子会社でありました親友サービス株式会社につきましては、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めており、同社の事業を「その他」として表示しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額742百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益655百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額86百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息および配当金、全社費用の配賦差額などであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常損失と調整をおこなっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得および消却をおこないました。これによる当第2四半期連結累計期間の取得による自己株式の増加額は2,407百万円、消却による自己株式および利益剰余金の減少額は2,714百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の自己株式は2,443百万円となっております。